

はじめに

このたびは、(株)デジタル製 メモリローダ をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

メモリローダ はGPシリーズのメンテナンス性の向上を目的とし、GPからGPへのデータの高速コピーを実現しています。ご使用前に本書をよくお読みいただき、メモリローダ の正しい取り扱い方法と機能をご理解いただきますようお願いいたします。

メモリローダ の対応機種を以下に示します。

シリーズ名		商品名	シリーズ名		商品名	
POWER GP シリーズ	GP-H70シリーズ	GP-H70L	GLCシリーズ	GLC100シリーズ	GLC100L	
		GP-H70S			GLC100S	
	GP-270シリーズ	GP-270L	GP-*30シリーズ	GLC300シリーズ	GP-230シリーズ	GLC300T
		GP-270S				GP-230G
	GP-370シリーズ	GP-370L	GP-*3J シリーズ	GP-43J	GP-53J	GP-230S
		GP-370S				GP-230B
	GP-470シリーズ	GP-470E	GP-*50シリーズ	GP-250シリーズ	GP-450シリーズ	GP-230H
		GP-570シリーズ				GP-570S
	GP-570T		CGPシリーズ	CGP-370シリーズ	GP-53JT	
	GP-570VM				Easyシリーズ	Easy20シリーズ
	GP-571T	GP-250シリーズ	GP-450E	GP-250L		
	GP-57JS			GP-450E	GP-550S	GP-250S
	GP-675シリーズ	GP-675T	GP-550S			GP-B50
		GP-675S		CGP-370S	GP-550T	
	GP-870シリーズ	GP-870VM	Easy50シリーズ		Easy20L	Easy20S
		GP-377シリーズ		GP-377L		
GP77R シリーズ	GP-377R		Easy50S	Easy50T	Easy50S	GP-377RT
	GP-477R	GP-477RE				Easy20L
GP-577R	GP-577RT	Easy20S				
GP-577RS	GP-577RS	Easy50T				
		Easy50S				

＜お断り＞

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で複製転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなど、ご不審な点がございましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© Copyright 1997 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.
(株)デジタル 1997 Jul.

本書に記載の商品名や製品は、それぞれの所有者の商標です。

もくじ

はじめに	1
もくじ	2
安全に関する使用上の注意	4
梱包内容	5
マニュアル表記上の注意	6

第1章 概要

1 メモリローダ の特徴	1-1
2 システム構成図	1-2

第2章 仕様

1 一般仕様	2-1
1 電氣的仕様	2-1
2 環境仕様	2-1
2 性能仕様	2-2
1 外部インターフェイス	2-2
2 特殊機能	2-2
3 各部の名称	2-3
4 外観図	2-4

第3章 動作

1 メモリローダ の機能	3-1
1 ブロック転送	3-2
2 画面転送	3-2
2 通信モード	3-3
3 起動から終了まで	3-4
4 GP 転送	3-5
1 GP 転送時の起動	3-5
2 アップロード	3-6
3 ダウンロード(ブロック転送)	3-7
4 ダウンロード(画面転送)	3-10
5 メモリカードのデータクリア	3-12

6 GP 転送の終了	3-13
5 パソコン転送	3-14
1 パソコン転送時の起動	3-15
2 メモリローダ データ転送ツール	3-16
3 GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフト	3-18
4 送信(ブロック転送).....	3-21
5 受信(ブロック転送).....	3-23
6 受信(画面転送)	3-25
7 メモリカードのデータクリア	3-28
8 パソコン転送の終了	3-29
6 メンテナンス	3-30
1 メンテナンス時の起動	3-30
2 データ確認	3-31
3 自己診断	3-32
4 メンテナンスの終了	3-36

第 4 章 エラーメッセージ

1 エラーメッセージ	4-1
1 メモリローダ に表示されるエラーメッセージ	4-1
2 パソコンに表示されるエラーメッセージ	4-2



警告 安全に関する使用上の注意

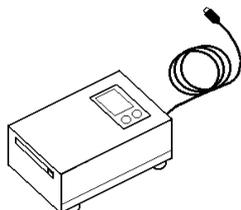
- ・ メモリローダ 接続は、感電の危険性がありますのでGPの電源を切ってから行ってください。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
- ・ 可燃性ガスのあるところでは、使用しないでください。爆発の可能性があります。
- ・ 電池の交換は、感電の危険性がありますのでメモリローダ の電源を切ってから行ってください。

故障しないために

- ・ 強い力や堅い物質でメモリローダ の表示部を押すと表示部が割れ危険ですので押さえないでください。
- ・ メモリローダ を設置する周囲温度は、範囲外で使うと、故障の原因になります。
- ・ メモリローダ の内部に水や液状のものや金属を入れないでください。故障や感電の原因になります。
- ・ 温度変化が急激で結露するような場所での使用は避けてください。
- ・ 高温下での保管や使用は避けてください。
- ・ 直射日光の当たる場所やほこりの多い場所での保管、および使用は避けてください。
- ・ メモリローダ は精密機器ですので衝撃を与えたり、振動の加わる場所での保管、および使用は避けてください。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管、および使用は避けてください。
- ・ メモリローダ の本体およびディスプレイはシンナーや有機溶剤などで拭かないでください。
- ・ 消耗した電池をそのままにしておくと、液もれによりメモリローダ を傷めることがあります。長期間使わない場合は取り外しておいてください。
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを表示どおり正しく入れてください。向きを誤って入れると発熱の恐れがあります。

梱包内容

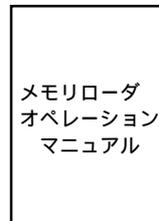
梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。



メモリローダ 本体 1個



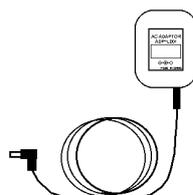
GP メモリローダ アプリケーションディスク 2枚
(メモリローダ データ転送ツールおよびGP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフト)



メモリローダ オペレーションマニュアル(本書) 1冊



メモ리카ード 1枚
(株富士通製 MB98A81273 4MB)



ACアダプタ 1個



単3アルカリ電池 2本

品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、すぐに販売店にご連絡ください。

マニュアル表記上の注意

本書で使用している用語や記号等の意味は以下のとおりです。

用語・記号	意味
GP	「はじめに」で紹介したメモリローダ 対応のすべての機種を指します。
パソコン	パーソナルコンピュータの略です。
GP 画面作成ソフト	「GP-PRO/PB for Windows95」または「GP-PRO/PB for Windows」を指します。
	特に注意していただきたいことについての説明です。必ずお読みください。
	覚えておくと役に立つことや、使用する際のポイントとなることについての説明です。
参照	関連事項の参照ページを示します。
*	脚注の用語解説で説明していることばです。
	操作手順です。番号に従って操作を進めてください。
	以下の手順がメモリローダ 上での操作または表示であることを意味します。
	以下の手順がパソコン上での操作または表示であることを意味します。

第1章

概要

1-1 メモリローダ の特徴

メモリローダ には次のような特徴があります。

コンパクト性・操作性

GPのツールコネクタ I/F に接続し、メモリカードを通して GP から GP へのデータコピーができます。コンパクトなボックスタイプなので現場での作業も容易です。

データの高速転送

データ転送には HS-LINK プロトコルを採用し、転送データの圧縮を行うことにより、高速転送を実現。

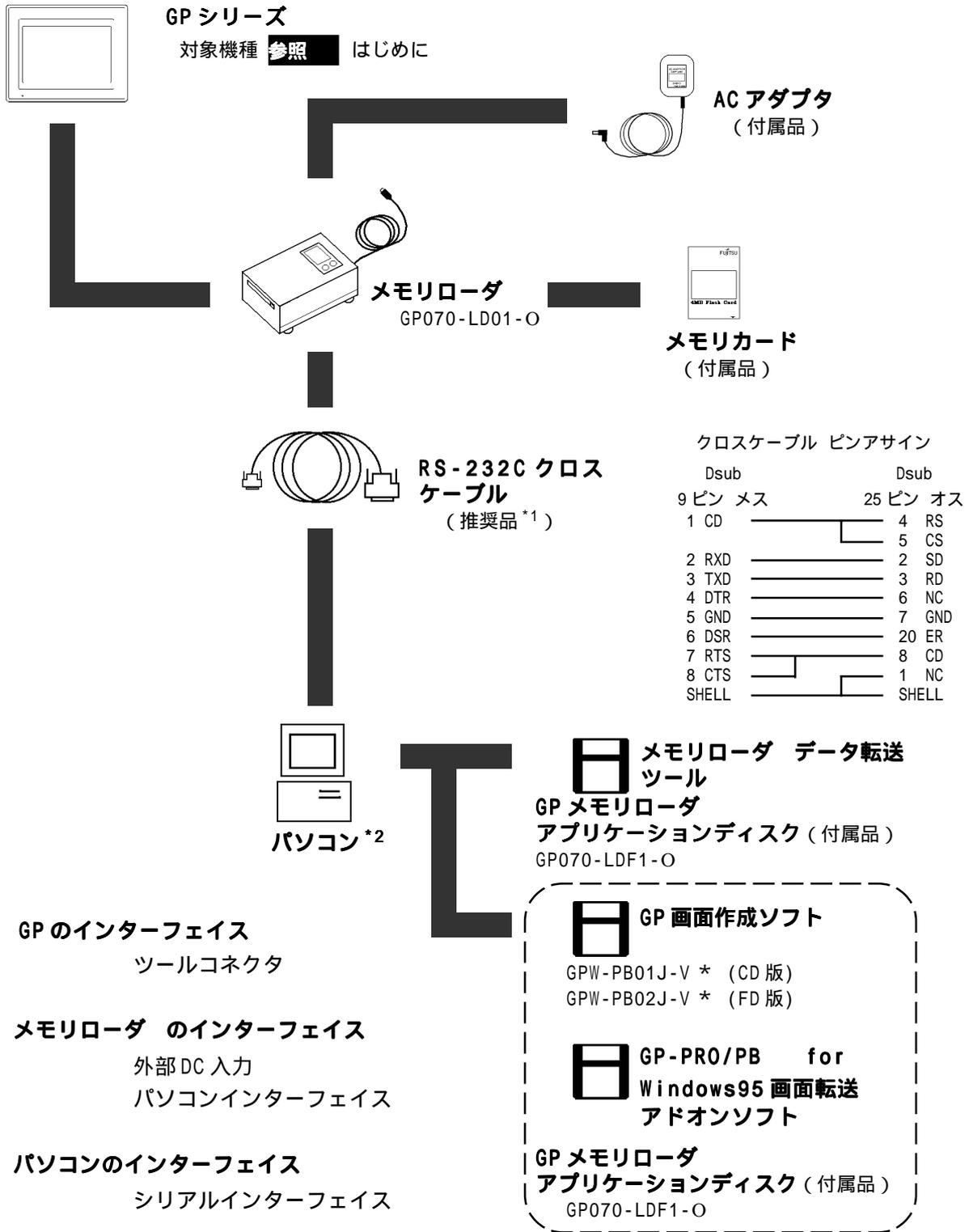
画面データのみ転送

GP 画面作成ソフト対応機種、画面データのみ（システムプログラム等は含みません）をメモリカードに読み出し、GP へ転送することができます。すべての画面データが更新されます。

GP-PRO/PB for Windows95 Ver.1.* の場合は、付属の「GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフト」を使用します。

1-2 システム構成図

メモリローダ 本体と接続する周辺機器を示します。



*1 エレコム(株)製 リバースケーブル C232R-PD15 (1.5m)

第2章

仕様

2-1 一般仕様

2-1-1 電氣的仕様

電源供給	1次電池もしくはACアダプタによる 1次電池：単3アルカリ電池2本 ACアダプタ：EIAJ RC-5320A 電圧区分3（9ボルト出力に対応）
消費電流	1次電池：400mA以下（3V） ACアダプタ：200mA以下（9V） ただし、データ転送時の平均消費電流とする
電池駆動時間	連続使用 約1時間



- ・電池からACアダプタへの切り替えは、必ずメモリローダの電源がOFFの状態で行ってください。メモリローダ 操作中には1次電池からACアダプタへ切り替えないでください。メモリローダ がリセットされる場合があります。
- ・電池は非常バックアップ用です。通常はACアダプタを使用してください。
- ・電池を使用する場合は必ずアルカリ電池を使用してください。

2-1-2 環境仕様

使用周囲温度	0～50
保存周囲温度	-10～60
周囲湿度	30～85%RH（結露のないこと）
雰囲気	腐食性ガスのないこと

2-2 性能仕様

2-2-1 外部インターフェイス

<p>パソコンインターフェイス (Dsub25S)</p> <table border="1"> <tr><td>2</td><td>SD</td></tr> <tr><td>3</td><td>RD</td></tr> <tr><td>4</td><td>RS</td></tr> <tr><td>5</td><td>CS</td></tr> <tr><td>7</td><td>GND</td></tr> <tr><td>8</td><td>CD</td></tr> <tr><td>20</td><td>ER</td></tr> </table>	2	SD	3	RD	4	RS	5	CS	7	GND	8	CD	20	ER	<p>調歩同期式 RS-232C データ長 8ビット、ストップビット 1ビット、パリティ チェック 無、伝送速度 38400bps</p>		
2	SD																
3	RD																
4	RS																
5	CS																
7	GND																
8	CD																
20	ER																
<p>GPインターフェイス (ミニ丸Din 8P)</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>RD</td></tr> <tr><td>2</td><td>GND</td></tr> <tr><td>3</td><td>CS</td></tr> <tr><td>4</td><td>SD</td></tr> <tr><td>5</td><td>CD</td></tr> <tr><td>6</td><td>RS</td></tr> <tr><td>7</td><td>ER</td></tr> <tr><td>8</td><td>Vcc</td></tr> </table>	1	RD	2	GND	3	CS	4	SD	5	CD	6	RS	7	ER	8	Vcc	<p>調歩同期式 TTLレベル データ長 8ビット、ストップビット 2ビット、パリティ チェック 無、伝送速度 9600bps</p>
1	RD																
2	GND																
3	CS																
4	SD																
5	CD																
6	RS																
7	ER																
8	Vcc																
<p>メモ리카ードインターフェイス (JEIDA標準)</p>	<p>使用可能メモ리카ード 富士通(株)製 MB98A81273 (4M FROM 5V単一)</p>																
<p>外部DC入力</p>	<p>ACアダプタ EIAJ RC-5320A 電圧区分3 (9ボルト出力に対応)</p>																

2-2-2 特殊機能

電源監視

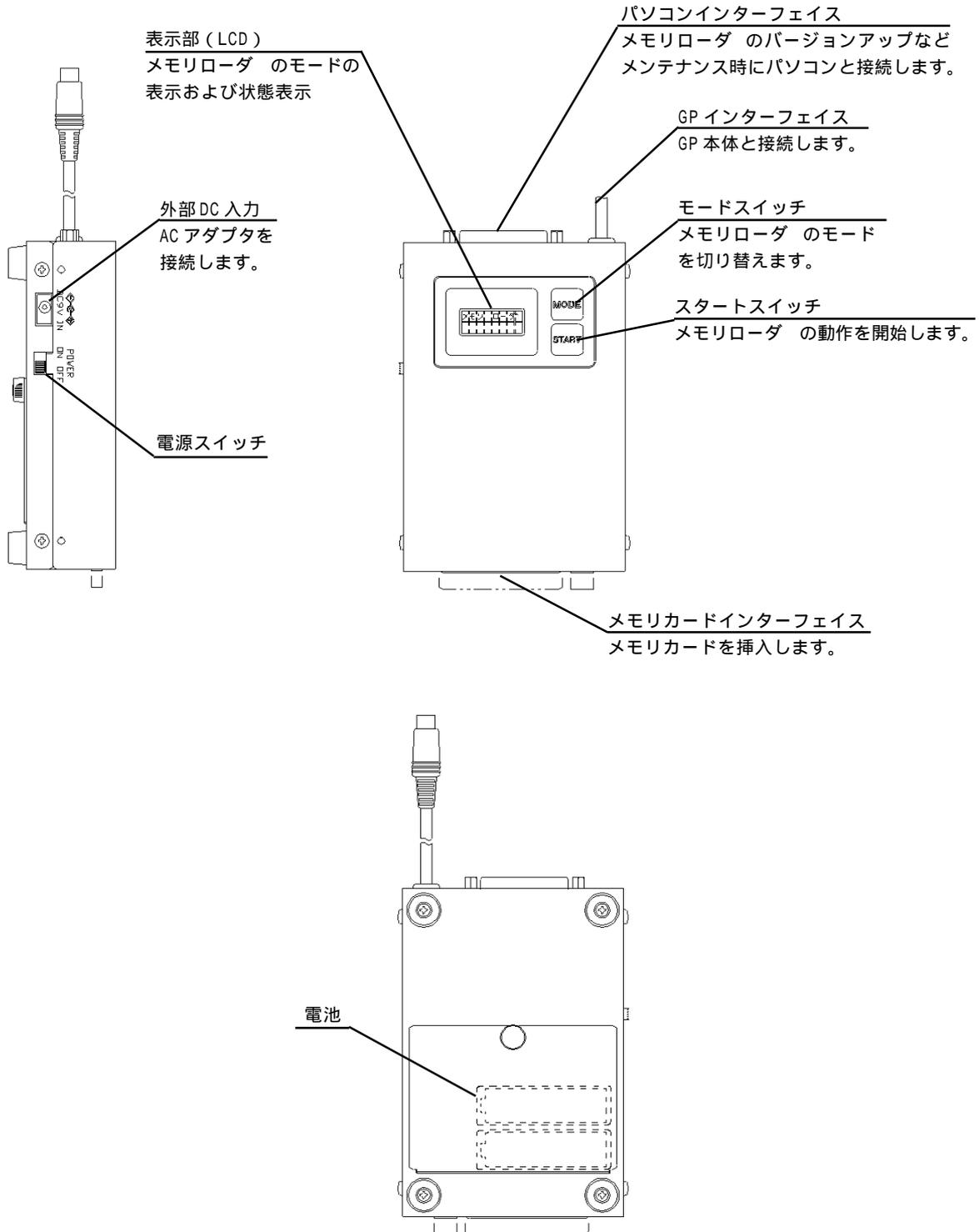
電池駆動時に一定電圧(約2.2V)以下になると表示部(LCD)に「Batt Err」の表示を行い、作業を中断します。

スリープモード

電池駆動時、操作待ち状態において一定時間(1分)操作が行われない場合、表示部を消去し、バッテリーの消耗を抑えます。モードスイッチまたはスタートスイッチを押すと再表示します。

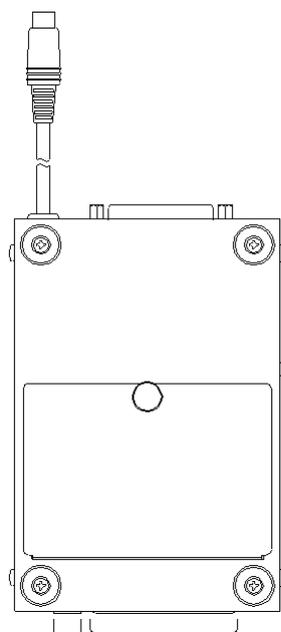
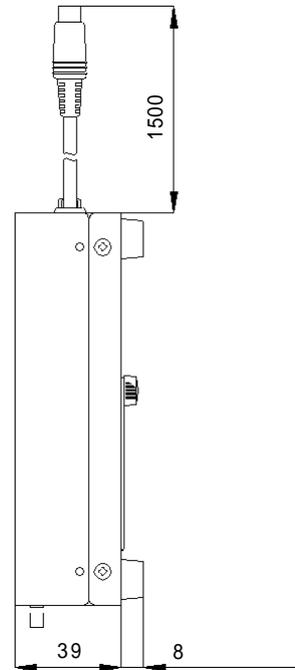
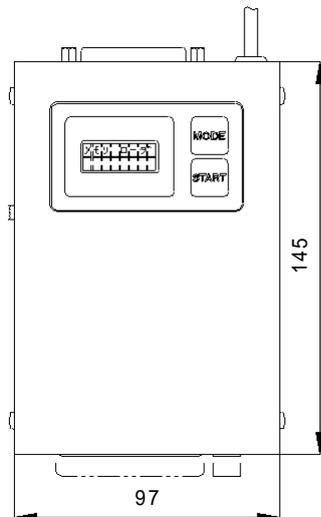
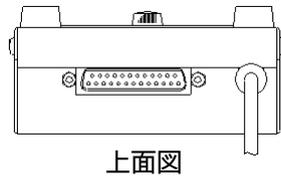
2-3

各部の名称



2-4 外觀圖

單位：mm



第3章

動作

3-1 メモリローダ の機能

メモリローダ には以下の機能があります。

ブロック転送機能 : GPに転送されているデータ(システム、通信プロトコル、画面データ)を読み出し(アップロード)、メモリカードに記憶します。この記憶データを他のGPに転送(ダウンロード)したり、パソコンに転送してバックアップデータ(*.mem)を作成します。



- ・バックアップデータ(*.mem)は再編集できません。

画面転送機能*1 : GP画面作成ソフトで作成した画面データのみをメモリローダ に記憶します。この記憶データをGPに転送(ダウンロード)します。

メンテナンス機能 : メモリローダ の自己診断機能

メモリローダ とGP間の転送を「GP転送」、メモリローダ とパソコン間の転送を「パソコン転送」と呼びます。

ブロック転送や画面転送は「GP転送」と「パソコン転送」を組み合わせで行います。

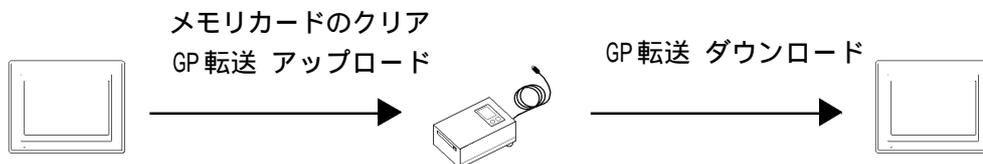
*1 GP-*30シリーズ、GP-*50シリーズ、CGPシリーズおよびEasyシリーズでは、画面転送は対応していません。

*2 メモリローダ データ転送ツールを使用。

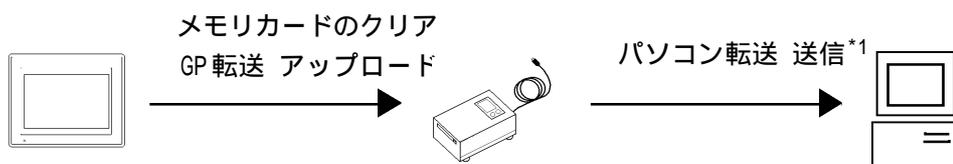
3-1-1 ブロック転送

ブロック転送の流れ

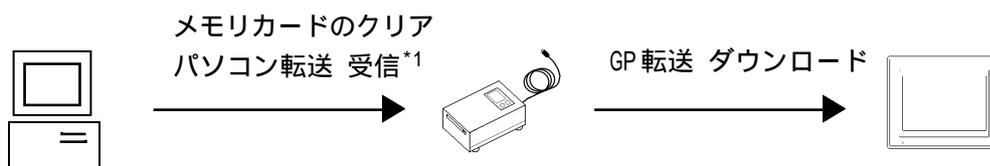
GP から GP ヘデータをコピー



GPのデータをバックアップ



バックアップデータをGPへ送信

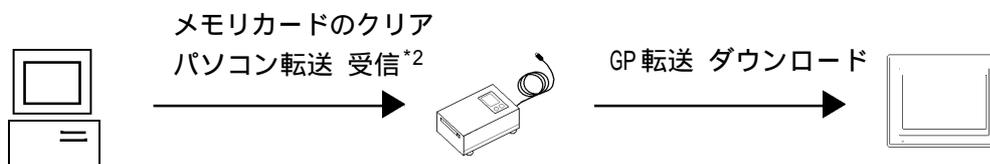


3-1-2 画面転送

画面転送の流れ

画面データをパソコンからGPへ送信

画面データ作成
画面データの転送準備



*1 メモリローダ データ転送ツールを使用。

*2 GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトを使用。

3-2 通信モード

メモリローダ には「GP転送」、「パソコン転送」、および「メンテナンス」の3つの通信モードがあります。

GP 転送モード

メモリローダ とGP間の転送を行います。GP転送には以下の動作モードがあります。

アップロード：GP内のデータを読み出してメモリカードへ書き込みます。(GP メモリローダ)

ダウンロード：メモリカードに書き込んだアップロードデータ(ブロック転送)や、GP画面作成ソフトで作成した画面データ(画面転送)をGPへ書き込みます。(メモリローダ GP)

クリア：メモリカードの初期化を行います。

エンド：GP転送モードを終了します。

パソコン転送モード

メモリローダ とパソコン間の転送を行います。パソコン転送には以下の動作モードがあります。

受信：バックアップデータ(*.mem)(ブロック転送)やGP画面作成ソフトで作成した画面データ(画面転送)をメモリカードへ書き込みます。(パソコン メモリローダ)

送信：メモリカードに書き込んだアップロードデータをバックアップデータ(*.mem)としてパソコンへ送信します。(メモリローダ パソコン)

クリア：メモリカードの初期化を行います。

エンド：パソコン転送モードを終了します。

メンテナンスモード

メモリカードやメモリローダ についての診断を行います。メンテナンスには以下の動作モードがあります。

データ確認：メモリカード内の記憶データのGPタイプ、システムバージョン、データサイズ、コアID、PLCタイプを表示します。

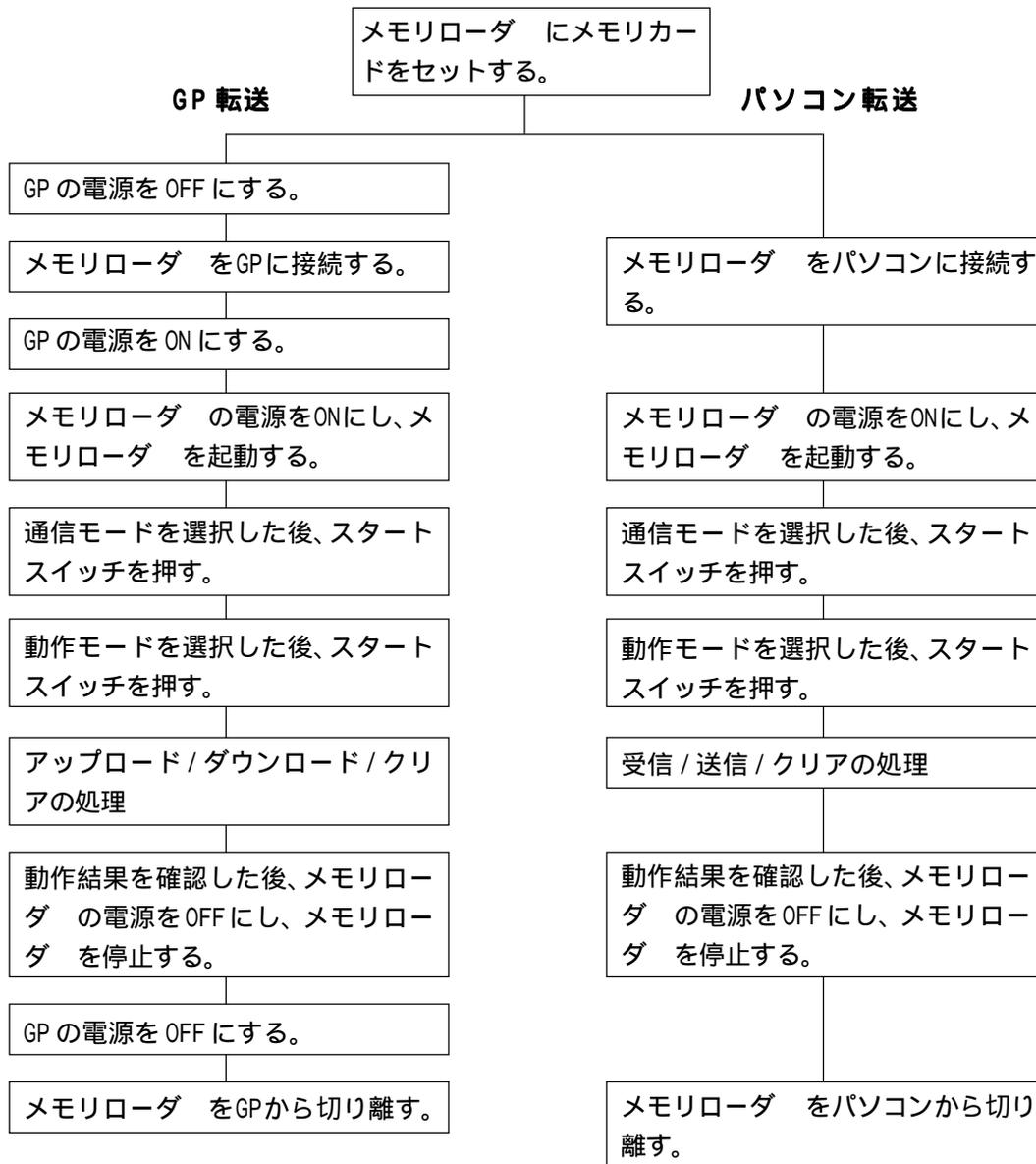
自己診断：メモリローダ の自己診断テストを行います。

エンド：メンテナンスモードを終了します。

3-3 起動から終了まで

基本操作手順

「GP転送」、「パソコン転送」時のメモリローダの起動から停止までの基本操作の流れをそれぞれ示します。



- ・ GPとの接続は、GPの電源がOFFの状態で行ってください。また、メモリローダの起動/停止は、GPの電源がONの状態で行ってください。
- ・ ケーブルの抜き差しは、コネクタ部をしっかりと持って行ってください。ケーブル部を引っ張るとケーブルが断線し、メモリローダが動作しなくなることがあります。
- ・ 処理中にケーブルを抜かないでください。メモリローダが停止し、データの書き込みが中断されます。

3-4 GP 転送

メモリローダ とGP間でデータ(システム、通信プロトコル、画面データ)のアップロード、ダウンロードを行います。

3-4-1 GP 転送時の起動

メモリローダ を起動し、通信モードをGP転送モードにします。

GP 転送起動の操作手順

OPERATION	NOTE
<p>GP の電源を OFF にする。</p> <p>メモリローダ を GP に接続する。</p> <p>GP の電源を ON にする。</p> <p>メモリローダ の電源を ON にする。</p> <p>起動メッセージ、メモリローダ のバージョンが表示され、メモリローダ が起動します。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">Memory Loader</div> <div>起動メッセージ (約 1 秒)</div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">Ver * . **</div> <div>バージョン表示 (約 1 秒)</div> </div>	<p> 電池は非常用です。メモリローダにはあらかじめ付属のACアダプタを接続して使用してください。</p>
<p>モードスイッチで通信モードのGP転送[Ld = Gp]を選択し、スタートスイッチで確定します。</p> <p>モードスイッチを押すごとに通信モードが切り替わります。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">Mode ? Ld = Gp</div> <div>通信モード</div> </div> <p style="text-align: center;">↓ スタートスイッチを押す</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">Ld = Gp ? Setting .</div> <div>GP 転送準備処理 (約 20 秒)</div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">Ld = Gp ? Gp Ld</div> <div>動作モード選択画面</div> </div>	<p> 通信モードは次のように切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>GP 転送 (Ld = Gp)</p> <p>パソコン転送 (Ld = Pc)</p> <p>メンテナンス (Maintain)</p> </div> <p> GP転送準備処理中、GPの表示は消えます。</p> <p>GP転送準備処理が終了すると、GPIには次のように表示されます。</p> <p style="text-align: center;">Memory Loader</p>

3-4-2 アップロード

GPデータ(システム、通信プロトコル、画面データ)をメモリローダへアップロードします。



- ・ アップロードはメモリカード内の記憶データをクリアしてから行なってください。メモリカード内に記憶データが存在する状態でアップロードを行うと、異常終了となります。

参照 3-4-3 メモリローダ のデータクリア

アップロード時の操作手順

OPERATION	NOTE
<div data-bbox="113 779 188 846" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>通信モードをGP転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードのアップロード[Gp Ld]を選択し、スタートスイッチで確定します。モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> Ld = Gp ? Gp Ld </div> <p style="margin-left: 20px;">動作モード</p> <p>アップロードの開始確認を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> Gp Ld Start ? </div> <p>スタートスイッチでアップロードを開始します。</p> <p>GPにはデータサイズが表示されます。</p> <p>動作モード 動作状態</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> Gp Ld ** *****kB </div> <p>処理したデータサイズ</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;"> Gp Ld RX *****kB </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;"> Gp Ld WT *****kB </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div>読み込みと書き込みが 数回繰り返される</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> Gp Ld OK *****kB </div> <p style="margin-left: 20px;">アップロードの終了</p>	<p>参照 3-4-1 GP転送時の起動</p> <div style="margin-top: 10px;"> <p>動作モードは次のように切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> →ダウンロード→ アップロード← </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> (Ld Gp) (Gp Ld) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> エンド ← クリア ← </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> (End) (Clear) </div> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>キャンセルする場合はモードスイッチ押すと動作モード選択画面に戻ります。</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>アップロードを開始すると、GPには次のように表示されます。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> Memory Loader Transfer *****KB Gp->Ld </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> Memory Loader *****KB Gp->Ld </div> </div>

OPERATION	NOTE																										
<p>スタートスイッチで終了します 動作モード選択画面に戻ります。</p> <div data-bbox="280 371 469 443" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> G p = L d ? G p L d </div> 動作モード	<p>MEMO 処理時間の目安</p> <table border="0"> <tr><td>GP70シリーズ</td><td>約11分</td></tr> <tr><td>GP-270シリーズ</td><td>約7.5分</td></tr> <tr><td>GP-571, GP-675</td><td>約22~27分</td></tr> <tr><td>GP-377, GP-377R</td><td>約19分</td></tr> <tr><td>GP-477R, GP-577R</td><td>約29分</td></tr> <tr><td>GLCシリーズ</td><td>約21分</td></tr> <tr><td>GP-230シリーズ</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>GP-*3Jシリーズ</td><td>約4分</td></tr> <tr><td>GP-250シリーズ</td><td>約6分</td></tr> <tr><td>GP-*50シリーズ</td><td>約9~15分</td></tr> <tr><td>CGPシリーズ</td><td>約11分</td></tr> <tr><td>Easy20シリーズ</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>Easy40/50シリーズ</td><td>約4分</td></tr> </table>	GP70シリーズ	約11分	GP-270シリーズ	約7.5分	GP-571, GP-675	約22~27分	GP-377, GP-377R	約19分	GP-477R, GP-577R	約29分	GLCシリーズ	約21分	GP-230シリーズ	約3分	GP-*3Jシリーズ	約4分	GP-250シリーズ	約6分	GP-*50シリーズ	約9~15分	CGPシリーズ	約11分	Easy20シリーズ	約3分	Easy40/50シリーズ	約4分
GP70シリーズ	約11分																										
GP-270シリーズ	約7.5分																										
GP-571, GP-675	約22~27分																										
GP-377, GP-377R	約19分																										
GP-477R, GP-577R	約29分																										
GLCシリーズ	約21分																										
GP-230シリーズ	約3分																										
GP-*3Jシリーズ	約4分																										
GP-250シリーズ	約6分																										
GP-*50シリーズ	約9~15分																										
CGPシリーズ	約11分																										
Easy20シリーズ	約3分																										
Easy40/50シリーズ	約4分																										

3-4-3 ダウンロード（ブロック転送）

GPからアップロードしたデータをGPへ書き込みます。

データ書き込み時には、機種コード、データサイズ、システムのバージョンの確認を行います。機種コード、データサイズ、システムのバージョンが一致しない場合は、異常終了となります。異常終了した場合は、必要に応じて強制的に転送することもできます。

参照 強制転送時の操作手順、4-1-1 メモリローダ で表示されるエラーメッセージ

ダウンロード（ブロック転送）時の操作手順

OPERATION	NOTE
<p> 通信モードをGP転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードのダウンロード[Ld Gp]を選択し、スタートスイッチで確定します。モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div data-bbox="280 1626 469 1697" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> L d = G p ? L d G p </div> 動作モード	

 L d G p
S t a r t ?

OPERATION	NOTE																								
<p>スタートスイッチでダウンロードを開始します。 GPにはデータサイズが表示されます。</p> <p>動作モード 動作状態</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> L d G p * * * * * * k B </div> <p>処理したデータサイズ</p> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;"> L d G p T X * * * * k B </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;"> L d G p W T * * * * k B </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div>読み込みと書き込みが 数回繰り返される</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> L d G p O K ダウンロードの終了 * * * * k B </div> <p>スタートスイッチで終了します 動作モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> L d = G p ? L d G p 動作モード </div>	<p>MEMO ダウンロードを開始すると、GPには次のように表示されます。</p> <p style="text-align: center;">Memory Loader Transfer *****KB Ld->Gp</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p style="text-align: center;">Memory Loader</p> <p style="text-align: center;">*****KB Ld->Gp</p> <p>MEMO 処理時間の目安</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>GP70シリーズ</td><td style="text-align: right;">約9分</td></tr> <tr><td>GP-270シリーズ</td><td style="text-align: right;">約8分</td></tr> <tr><td>GP-571, GP-675</td><td style="text-align: right;">約20～25分</td></tr> <tr><td>GP-377, GP-377R</td><td style="text-align: right;">約14分</td></tr> <tr><td>GP-477R, GP-577R</td><td style="text-align: right;">約20分</td></tr> <tr><td>GLCシリーズ</td><td style="text-align: right;">約14分</td></tr> <tr><td>GP-230シリーズ</td><td style="text-align: right;">約4分</td></tr> <tr><td>GP-*3Jシリーズ</td><td style="text-align: right;">約5分</td></tr> <tr><td>GP-*50シリーズ</td><td style="text-align: right;">約4～6分</td></tr> <tr><td>CGPシリーズ</td><td style="text-align: right;">約9分</td></tr> <tr><td>Easy20シリーズ</td><td style="text-align: right;">約4分</td></tr> <tr><td>Easy40/50シリーズ</td><td style="text-align: right;">約5分</td></tr> </table> <p>MEMO 異常終了した場合は必要に応じて強制転送を行ってください。</p>	GP70シリーズ	約9分	GP-270シリーズ	約8分	GP-571, GP-675	約20～25分	GP-377, GP-377R	約14分	GP-477R, GP-577R	約20分	GLCシリーズ	約14分	GP-230シリーズ	約4分	GP-*3Jシリーズ	約5分	GP-*50シリーズ	約4～6分	CGPシリーズ	約9分	Easy20シリーズ	約4分	Easy40/50シリーズ	約5分
GP70シリーズ	約9分																								
GP-270シリーズ	約8分																								
GP-571, GP-675	約20～25分																								
GP-377, GP-377R	約14分																								
GP-477R, GP-577R	約20分																								
GLCシリーズ	約14分																								
GP-230シリーズ	約4分																								
GP-*3Jシリーズ	約5分																								
GP-*50シリーズ	約4～6分																								
CGPシリーズ	約9分																								
Easy20シリーズ	約4分																								
Easy40/50シリーズ	約5分																								

強制転送の操作手順

GPからアップロードしたデータをGPへ書き込む際、誤動作を防ぐためにメモリローダ は機種種別・データサイズ・システムのバージョンを確認します。

確認した内容が一致していない場合、TYPE ERRで異常終了となります。

メンテナンスモードでデータを確認し、ダウンロードしてかまわないのであれば、下記の方法にて強制転送してください。

参照 3-6-2 データ確認

OPERATION	NOTE
<p>GPの電源をOFFにする。</p> <p>メモリローダをGPに接続する。</p> <p>GPの電源をONにする。</p> <p>メモリローダの <u>スタートスイッチを押しながら電源をONにする。</u></p> <p>起動メッセージ、メモリローダ のバージョンが表示され、メモリローダ が起動します。</p> <div data-bbox="280 1048 750 1122" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Memory Loader</div> 起動メッセージ (約1秒) <p style="text-align: center;">↓</p> <div data-bbox="280 1205 750 1279" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Ver * . * *</div> バージョン表示 (約1秒) <p>動作モードの画面が表示されたらスタートスイッチを離します。</p> <p>モードスイッチでダウンロード[Ld Gp]を選択し、スタートスイッチで確定します。</p> <div data-bbox="280 1507 604 1581" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Ld = Gp ? Ld Gp</div> 動作モード <p>モードスイッチで転送方法の強制転送[Force]を選択し、スタートスイッチで確定します。</p> <div data-bbox="280 1720 584 1794" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Ld Gp Force ?</div> 転送方法 <p>ダウンロードの開始確認を行います。</p> <div data-bbox="280 1888 469 1962" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Ld Gp Start ?</div>	<p> 動作モードの画面が表示されるまでスタートスイッチを押し続けてください。</p> <p> 動作モードは次のように切り替わります。</p> <div data-bbox="1002 1406 1407 1529" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ↓ダウンロード (Ld Gp) → アップロード (Gp Ld) ↓ エンド (End) ← クリア (Clear) ← </div> <p> 転送方法は次のように切り替わります。</p> <div data-bbox="1002 1720 1407 1805" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> → 通常転送 (Normal) → 強制転送 (Force) → </div> <p> 注意 データサイズが異なる場合は、警告メッセージが表示されます。</p> <div data-bbox="1034 1973 1401 2047" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Ld Gp S Warn ?</div> 警告メッセージ

OPERATION	NOTE																								
<p>スタートスイッチでダウンロードを開始します。 GPにはデータサイズが表示されます。</p> <p>動作モード 動作状態</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">L d G p * * * * * * k B</div> <p>処理したデータサイズ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">L d G p T X * * * * k B</div> <div style="margin: 0 10px;">}</div> <div>読み込みと書き込みが 数回繰り返される</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">L d G p W T * * * * k B</div> <div style="margin: 0 10px;">}</div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">L d G p O K * * * * k B</div> <div style="margin-left: 20px;">ダウンロードの終了</div> </div> <p>スタートスイッチで終了します 動作モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">L d = G p ? L d G p</div> <p style="text-align: right;">動作モード</p>	<p>MEMO 処理時間の目安</p> <table border="0"> <tr><td>GP70シリーズ</td><td>約9分</td></tr> <tr><td>GP-270シリーズ</td><td>約8分</td></tr> <tr><td>GP-571, GP-675</td><td>約20～25分</td></tr> <tr><td>GP-377, GP-377R</td><td>約14分</td></tr> <tr><td>GP-477R, GP-577R</td><td>約20分</td></tr> <tr><td>GLCシリーズ</td><td>約14分</td></tr> <tr><td>GP-230シリーズ</td><td>約4分</td></tr> <tr><td>GP-*3Jシリーズ</td><td>約5分</td></tr> <tr><td>GP-*50シリーズ</td><td>約4～6分</td></tr> <tr><td>CGPシリーズ</td><td>約9分</td></tr> <tr><td>Easy20シリーズ</td><td>約4分</td></tr> <tr><td>Easy40/50シリーズ</td><td>約5分</td></tr> </table> <p>この表示は数回繰り返されます。</p> <p>スタートスイッチで終了し、動作モード 選択画面に戻ります。</p>	GP70シリーズ	約9分	GP-270シリーズ	約8分	GP-571, GP-675	約20～25分	GP-377, GP-377R	約14分	GP-477R, GP-577R	約20分	GLCシリーズ	約14分	GP-230シリーズ	約4分	GP-*3Jシリーズ	約5分	GP-*50シリーズ	約4～6分	CGPシリーズ	約9分	Easy20シリーズ	約4分	Easy40/50シリーズ	約5分
GP70シリーズ	約9分																								
GP-270シリーズ	約8分																								
GP-571, GP-675	約20～25分																								
GP-377, GP-377R	約14分																								
GP-477R, GP-577R	約20分																								
GLCシリーズ	約14分																								
GP-230シリーズ	約4分																								
GP-*3Jシリーズ	約5分																								
GP-*50シリーズ	約4～6分																								
CGPシリーズ	約9分																								
Easy20シリーズ	約4分																								
Easy40/50シリーズ	約5分																								



- ・強制ダウンロードを行うと、システムのVer.(バージョン)が異なるGPへダウンロードできます。ただし、ダウンロードした画面データを加工する場合は、画面データと同じVer.(バージョン)のGP画面作成ソフトでアップロードする必要があります。

3-4-4 ダウンロード (画面転送)

パソコン転送でメモリカードに書き込んだ画面データをGPへ書き込みます。

参照 3-5-6 受信 (画面転送)

データ書き込み時には、通信プロトコルの確認を行います。通信プロトコルが一致しない場合は、異常終了となります。



- ・ GP-*30シリーズ、GP-*50シリーズ、CGPシリーズおよびEasyシリーズでは、画面転送は対応していません。
- ・ ご購入後、一度もセットアップされていないIGPへ、画面のみを転送することはできません。
- ・ GPにパスワードを登録したプロジェクトファイルが転送されている場合、メモリローダ からダウンロードする画面データにも必ず同じパスワードを登録しておいてください。パスワードが一致しない場合は、ダウンロードできません。

が一致しない場合は、ダウンロードできません。

ダウンロード（画面転送）時の操作手順

OPERATION	NOTE
<p> 通信モードをGP転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードのダウンロード[Ld > Gp]を選択し、スタートスイッチで確定します。 モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div data-bbox="280 819 603 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld = Gp ? Ld > Gp </div> 動作モード <p>ダウンロードの開始確認を行います。 データサイズが異なる場合は、警告メッセージが表示されます。</p> <div data-bbox="280 1084 469 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld > Gp Start ? </div> <p>スタートスイッチでダウンロードを開始します。 GPにはデータサイズが表示されます。</p> <p>動作モード 動作状態</p> <div data-bbox="280 1357 469 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld > Gp ** **** kB </div> <p>処理したデータサイズ</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <div data-bbox="280 1559 469 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld > Gp TX **** kB </div> <div data-bbox="280 1662 469 1733" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld > Gp WT **** kB </div> <div data-bbox="280 1805 469 1877" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld > Gp OK **** kB </div> <p style="margin-left: 20px;">読み込みと書き込みが 数回繰り返される</p> <p style="margin-left: 20px;">ダウンロードの終了</p> <p>スタートスイッチで終了します。 動作モード選択画面に戻ります。</p> <div data-bbox="280 2020 603 2092" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld = Gp ? Ld > Gp </div> 動作モード	<p>参照 3-4-1 GP転送時の起動</p> <p> 注意 ダウンロード（画面転送）を行うためにはあらかじめメモリカードに画面データのみを書き込んでおく必要があります。</p> <p>参照 3-5-6 受信（画面転送）</p> <p> MEMO この場合、動作モードとしてアップロードを選択することはできません。</p> <div data-bbox="1002 869 1406 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ↓ ダウンロード (Ld > Gp) ← エンド (End) クリア (Clear) ← </div> <p> MEMO キャンセルする場合はモードスイッチを押すと動作モード選択画面に戻ります。</p> <p> 注意 GP本体は「画面データの転送モード」または「運転モード」にしておきます。</p> <p> MEMO ダウンロードを開始すると、GPには次のように表示されます。</p> <p style="text-align: center;">フォーマット中です。 しばらくお待ち下さい。</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p style="text-align: center;">転送中です。 しばらくお待ち下さい。</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p style="text-align: center;">書き込み中です。 しばらくお待ち下さい。</p>

3-4-5 メモリカードのデータクリア

メモリカード内の記憶データを初期化します。



・メモリカードのデータクリアは「パソコン転送」モードでも行えます。 **参照** 3-5-7 メモリカードのデータクリア



・メモリカードのデータクリアを実行すると、メモリカード内のデータはすべて消去されます。クリア実行前に、データ確認を行ってください。

データクリア時の操作手順

OPERATION	NOTE
<div data-bbox="108 860 188 927" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>通信モードをGP 転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードのクリア[Clear]を選択し、スタートスイッチで確定します。</p> <p>モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> L d = G p ? C l e a r </div> 動作モード <p>クリアの開始確認を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> C l e a r S t a r t ? </div> <p>スタートスイッチでクリアを開始します。</p> <p>動作モード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> C l e a r * * * * k B </div> <p>処理したデータサイズ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> C l e a r O K * * * * k B </div> データクリアの終了 <p>スタートスイッチで終了します。</p> <p>動作モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> L d = G p ? C l e a r </div> 動作モード	<div data-bbox="922 846 984 936" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>動作モードは次のように切り替わります。</p> <p>ブロック転送時</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> ↓ダウンロード (Ld Gp) → アップロード (Gp Ld) ↓ エンド (End) ← クリア (Clear) ← </div> <p>画面転送時</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> ↓ダウンロード (Ld > Gp) ↓ エンド (End) ← クリア (Clear) ← </div> <div data-bbox="922 1332 984 1422" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>キャンセルする場合はモードスイッチを押すと動作モード選択画面に戻ります。</p> <div data-bbox="922 1534 984 1624" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>処理時間の目安は、4MBのメモリカードで約1.5分です。</p>

3-4-6 GP 転送の終了

GP転送モードからメモリローダ を終了します。

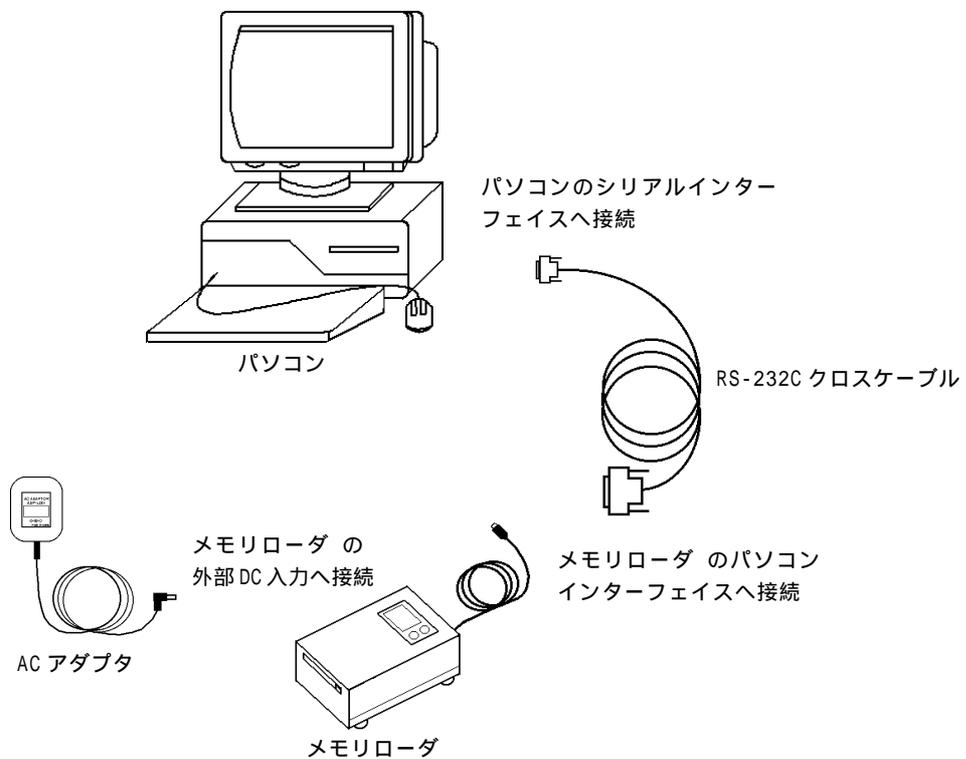
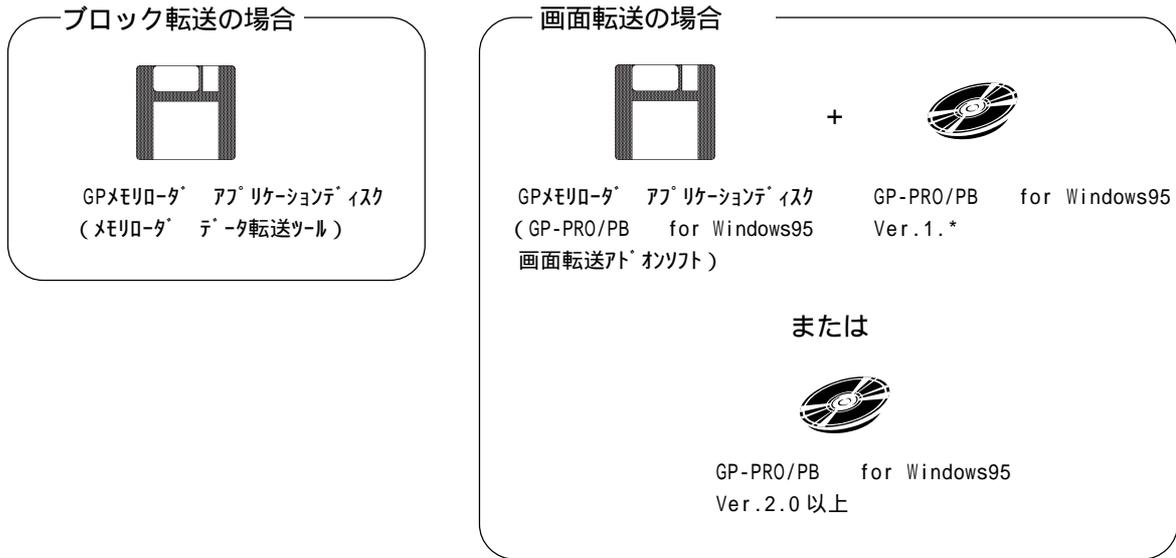
GP 転送終了時の操作手順

OPERATION	NOTE
 <p>アップロード、ダウンロード、クリアの各処理終了後、動作モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> L d = G p ? L d G p </div> 動作モード <p>モードスイッチで動作モードのエンド[End]を選択し、スタートスイッチで確定します。 通信モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Mode ? L d = G p </div> 通信モード <p>メモリローダの電源を OFF にします。 メモリローダ は停止し、画面表示が消えます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Mode ? L d = G p </div> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>GPの電源をOFFにします。 メモリローダを GP から切り離します。</p>	 <p>動作モードは次のように切り替わります。</p> <p>ブロック転送時</p> <pre> →ダウンロード→アップロード→ (Ld Gp) (Gp Ld) ←クリア← (End) (Clear) </pre> <p>画面転送時</p> <pre> →ダウンロード→ (Ld > Gp) ←クリア← (End) (Clear) </pre>

3-5 パソコン転送

メモリローダ とパソコン間でバックアップデータや画面データの送受信を行います。
 転送時の環境は以下のとおりです。ブロック転送か、画面転送かによって、使用するプログラムが異なります。

参照 1-2 システム構成図



3-5-1 パソコン転送時の起動

メモリローダ を起動し、通信モードをパソコン転送モードにします。

パソコン転送時の操作手順

OPERATION	NOTE
<p> パソコンのシリアルポートにメモリローダを接続します。</p> <p>メモリローダの電源を ON にします。起動メッセージ、メモリローダ のバージョンが表示され、メモリローダ が起動されます。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Memory Loader</div> <div style="margin-left: 10px;">起動メッセージ (約 1 秒)</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Ver * . **</div> <div style="margin-left: 10px;">バージョン表示 (約 1 秒)</div> </div>	<p> メモリローダ とパソコンは、RS-232Cクロスケーブルで接続します。</p> <p> 電池は非常用です。メモリローダにはあらかじめ付属のACアダプタを接続して使用してください。</p>
<p>モードスイッチで通信モードのパソコン転送 [Ld = Pc] を選択し、スタートスイッチで確定します。モードスイッチを押すごとに通信モードが切り替わります。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Mode ? Ld = Pc</div> <div style="margin-left: 10px;">通信モード</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Ld = Pc ? Pc Ld</div> <div style="margin-left: 10px;">動作モード選択画面</div> </div>	<p> 通信モードは次のように切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center;">GP 転送 (Ld = Gp)</p> <p style="text-align: center;">パソコン転送 (Ld = Pc)</p> <p style="text-align: center;">メンテナンス (Maintain)</p> </div>

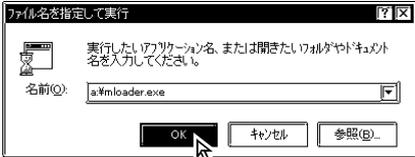
3-5-2 メモリローダ データ転送ツール

メモリローダ とパソコン間のブロック転送に使用します。GPからアップデートしたメモリカード内の記憶データをパソコンに転送し、バックアップデータ(*.mem)として保存します。また、パソコンで保存したバックアップデータをメモリカードへ転送します。



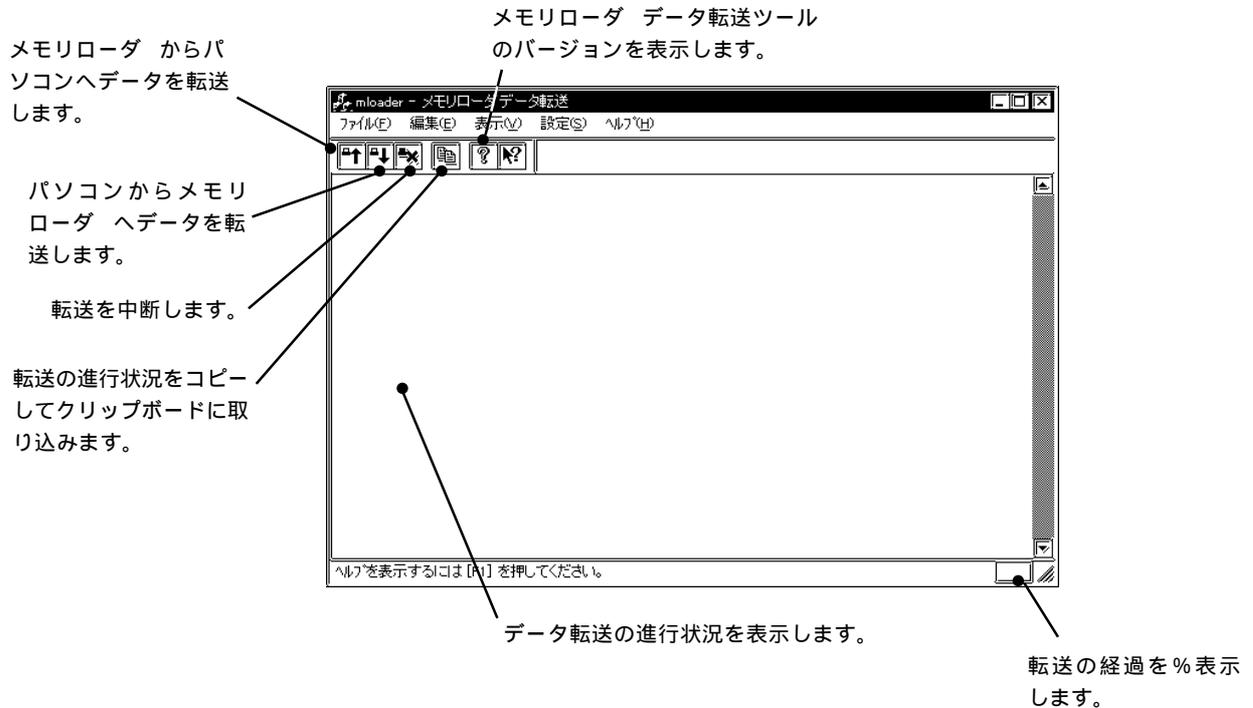
・バックアップデータ(*.mem)は再編集できません。

メモリローダ データ転送ツールの起動

OPERATION	NOTE
<p>メモリローダデータ転送ツールのフロッピーディスク(Disk1)をフロッピーディスクドライブに入れます。</p> <p> [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行(R)] をクリックします。</p>  <p>[x:¥mloader.exe]と入力し、<input type="button" value="OK"/> をクリックします(xにはフロッピーディスクドライブ名を入力します)。 ここではAドライブがフロッピーディスクドライブとします。</p>  <p>メモリローダ データ転送ツールが起動します。</p> 	<p> 注意 必ずインストール用プログラムを使ってインストールしてください。</p>

メモリローダ データ転送ツール

メモリローダ データ転送ツール(実行ファイル mloader.exe)を起動すると、データ転送のための画面が表示されます。



通信設定

[設定(S)]から[通信設定(C)]を選択すると、通信設定のためのダイアログボックスが表示されます。

メモリローダ との通信設定は以下のとおりです。

シリアルポート 接続するシリアルポートにあわせます。

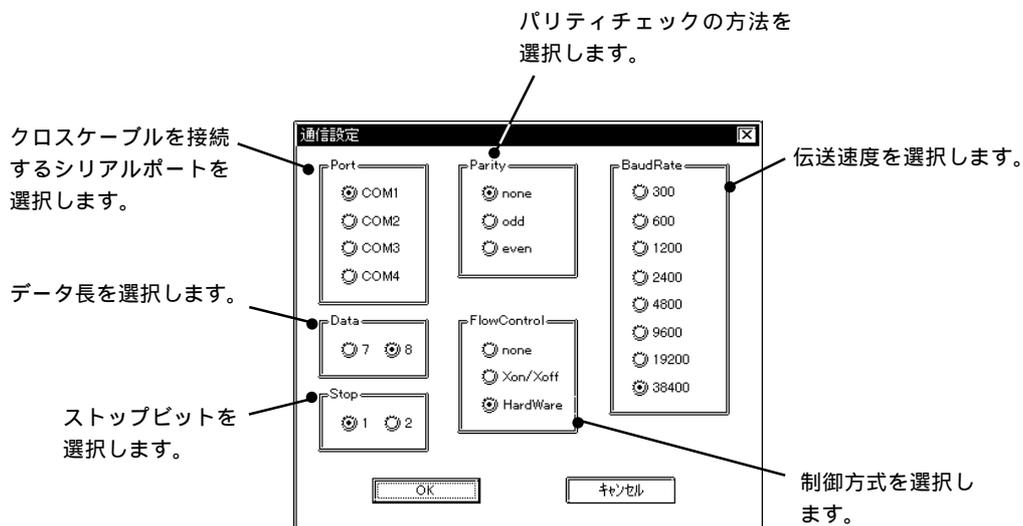
データ長 8ビット

ストップビット 1ビット

パリティビット なし

制御方式 ハードウェア

伝送速度 38400bps



3-5-3 GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフト

メモリローダ とパソコン間の画面転送に使用します。パソコンからメモリローダ へ画面データを書き込みます。

この機能は GP-PRO/PB for Windows95 Ver.1.* に GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトを追加することにより使用できます。GP-PRO/PB for Windows95 Ver.2.0 以上をご使用の場合、アドオンソフトのインストールは不要です。



- ・ GP-*30 シリーズ、GP-*50 シリーズ、CGP シリーズおよび Easy シリーズでは、画面転送は対応していません。

GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトのインストール

GP-PRO/PB for Windows95 Ver1.* に GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトを追加します。アドオンソフトのインストール手順を以下に示します。

OPERATION

GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトフロッピーディスク (Disk2) をフロッピーディスクドライブに入れます。



[スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックします。



[x:¥Setup.exe] と入力し、**OK** をクリックします (x にはフロッピーディスクドライブ名を入力します)。

ここではAドライブがフロッピーディスクドライブとします。



NOTE



必ずインストール用プログラムを使ってインストールしてください。

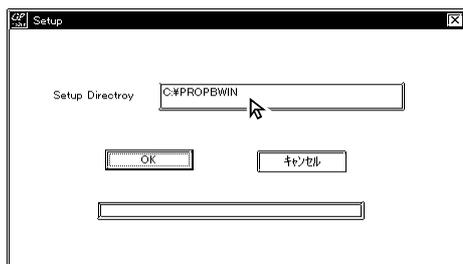
OPERATION

NOTE

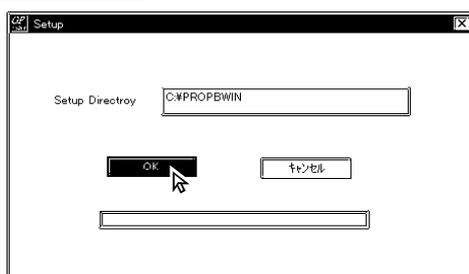
GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトをインストールするディレクトリを指定します。

GP-PRO/PB for Windows95 Ver1.* がインストールされているフォルダを指定します。

ここではCドライブにGP-PRO/PB for Windows95 Ver1.* がインストールされているとします。



OK でインストールを開始します。



OK でインストールを終了します。



転送設定

GP-PRO/PB for Windows95 Ver1.* に GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトを追加すると、[転送設定]のダイアログボックスに[転送先タイプ]の項目が追加されます。また、[転送設定]の各設定項目は一部固定になります。

GP からデータを受信するためのアップロード情報を送信するかどうかを指定します。

GP システムの設定の情報を必ず送信します。

セットアップは行いません。

転送ケーブルを接続するシリアルポートを選択します。

転送先タイプを選択します。

転送先タイプ



GP

GP画面作成ソフトとGPとの間でデータの送受信を行います。

メモリローダ

GP画面作成ソフトからメモリローダへ画面データの送信を行います。

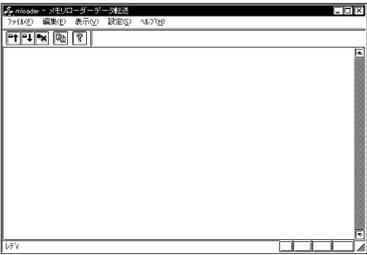
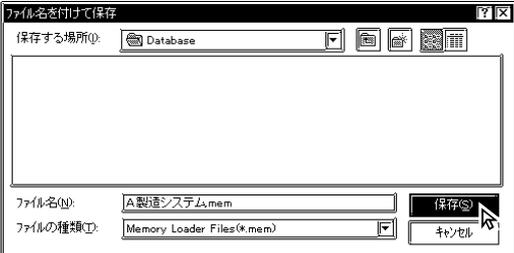
3-5-4 送信（ブロック転送）

GPからアップロードしたメモリカード内の記憶データをパソコンに転送し、バックアップデータ(*.mem)として保存します。



・バックアップデータ(*.mem)は再編集できません。

送信（ブロック転送）時の操作手順

OPERATION	NOTE
<p> 通信モードをパソコン転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードの送信[Ld Pc]を選択し、スタートスイッチで確定します。</p> <p>モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div data-bbox="280 831 606 904" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld = Pc ? Ld Pc </div> 動作モード	<p>参照 3-5-1 パソコン転送時の起動</p> <p> 動作モードは次のように切り替わります。</p> <div data-bbox="1002 831 1410 949" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 受信 → 送信 (Pc Ld) (Ld Pc) ↓ ↓ エンド ← クリア ← (End) (Clear) </div>
<p> パソコンでメモリローダデータ転送ツール（実行ファイルmloader.exe）を起動します。</p> <div data-bbox="280 1196 647 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>	<p>参照 3-5-2 メモリローダ データ転送ツール</p>
<p>[ファイル(F)]から[データ転送Ld Pc(P)]を選択、またはをクリックします。</p> <div data-bbox="280 1585 561 1756" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ファイル(F)</p> <p>データ転送Ld→Pc(P) F8</p> <p>データ転送Pc→Ld(L) F4</p> <p>データ転送中断(C)</p> <p>アプリケーションの終了(X)</p> </div>	
<p>アップロードしたデータを保存するフォルダとファイル名を指定します。</p> <div data-bbox="280 1877 794 2130" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>	

OPERATION

NOTE



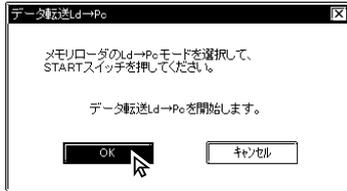
スタートスイッチで転送可能状態になります。

L d P c
S t a r t ?



OK

でデータ転送（送信）を開始します。



L d P c * *
* * * * k B

処理したデータサイズ



L d P c T X
* * * * k B

L d P c W T
* * * * k B

読み込みと書き込みが
数回繰り返される



L d P c O K
* * * * k B

送信の終了

スタートスイッチで終了します

動作モード選択画面に戻ります。

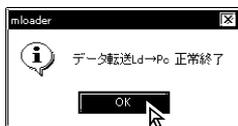
L d = P c ?
P c L d

動作モード



OK

をクリックします。



データ転送を中断する場合は、
[ファイル(F)]から[データ転送中断
(A)]を選択、またはをクリック
します。



パソコンの画面には転送の進行状
況が表示されます。

3-5-5 受信（ブロック転送）

バックアップデータ(*.mem)をパソコンからメモリカードに転送します。

受信（ブロック転送）時の操作手順



- ・ 受信はメモリカード内の記憶データをクリアしてから行なってください。メモリカード内に記憶データが存在する状態でアップロードを行うと、異常終了となります。

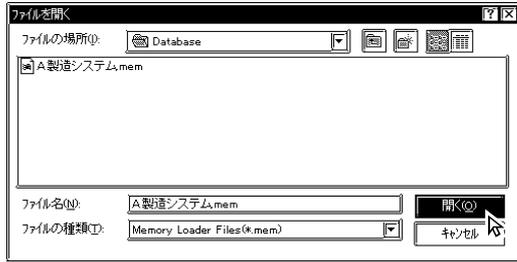
参照 3-5-7 メモリカードのデータクリア

OPERATION	NOTE
<p> 通信モードをパソコン転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードの受信[Pc Ld]を選択し、スタートスイッチで確定します。 モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Ld = Pc ? Pc Ld </div> <p style="margin-left: 20px;">動作モード</p> <p>受信の開始確認画面が表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Pc Ld Start ? </div>	<p>参照 3-5-1 パソコン転送時の起動</p> <p> 動作モードは次のように切り替わります。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[受信 (Pc Ld)] --> B[送信 (Ld Pc)] B --> C[クリア (Clear)] C --> D[エンド (End)] D --> A </pre> </div> <p> キャンセルする場合はモードスイッチで動作モード選択画面に戻ります。</p>
<p> パソコンでメモリロードデータ転送ツール（実行ファイルmloader.exe）を起動します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>[ファイル(F)]から[データ転送Pc Ld(L)]を選択、またはをクリックします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ファイル(F) データ転送Ld→Pc(P) F3 データ転送Pc→Ld(L) F4 データ転送中断(Alt) アプリケーションの終了(Alt+F4) </div>	<p>参照 3-5-2 メモリロードデータ転送ツール</p>

OPERATION

NOTE

転送するファイル (*.mem) を指定します。

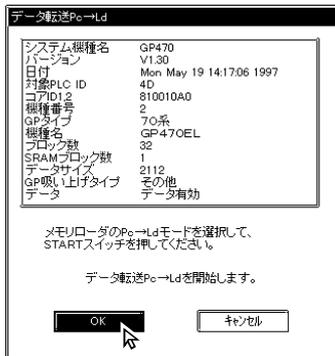


スタートスイッチで転送可能状態になります。

```
P c L d
S t a r t ?
```



OK でデータ転送 (受信) を開始します。



```
P c L d * *
* * * * k B
```

処理したデータサイズ



```
P c L d R X
* * * * k B
```

```
P c L d W T
* * * * k B
```



```
P c L d O K
* * * * k B
```

読み込みと書き込みが
数回繰り返される

受信の終了



データ転送を中断する場合は、[ファイル(F)]から[データ転送中断(A)]を選択、またはをクリックします。



パソコンの画面には転送の進行状況が表示されます。

OPERATION	NOTE
<p>スタートスイッチで終了します 動作モード選択画面に戻ります。</p> <div data-bbox="280 371 469 443" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> L d = P c ? P c L d </div> 動作モード  <div data-bbox="264 474 418 519" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">OK</div> をクリックします。 	

3-5-6 受信（画面転送）

パソコンからメモリローダへ画面データを書き込みます。

この機能は GP-PRO/PB for Windows95 Ver.1.* に GP-PRO/PB for Windows95 画面転送アドオンソフトを追加することにより使用できます。GP-PRO/PB for Windows95 Ver.2.0以上をご使用の場合、アドオンソフトのインストールは不要です。



- GP-*30シリーズ、GP-*50シリーズ、CGPシリーズおよびEasyシリーズでは、画面転送は対応していません。

受信（画面転送）時の操作手順



- 受信はメモリカード内の記憶データをクリアしてから行なってください。メモリカード内に記憶データが存在する状態でアップロードを行うと、異常終了となります。

参照 3-5-7 メモリカードのデータクリア

OPERATION	NOTE												
 <p>通信モードをパソコン転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードの受信[Pc Ld]を選択し、スタートスイッチで確定します。 モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div data-bbox="280 1832 469 1904" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> L d = P c ? P c L d </div> 動作モード <p>受信の開始確認画面が表示されます。</p> <div data-bbox="280 2007 469 2078" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> P c L d S t a r t ? </div>	<p>参照 3-5-1 パソコン転送時の起動</p> <p>MEMO 動作モードは次のように切り替わります。</p> <div data-bbox="1002 1792 1410 1912" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">受信</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">送信</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(Pc Ld)</td> <td style="text-align: center;">(Ld Pc)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">← エンド (End)</td> <td style="text-align: center;">クリア (Clear) →</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>MEMO キャンセルする場合はモードスイッチで動作モード選択画面に戻ります。</p>		受信	送信			(Pc Ld)	(Ld Pc)			← エンド (End)	クリア (Clear) →	
	受信	送信											
	(Pc Ld)	(Ld Pc)											
	← エンド (End)	クリア (Clear) →											

OPERATION

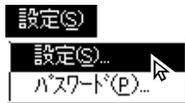
NOTE



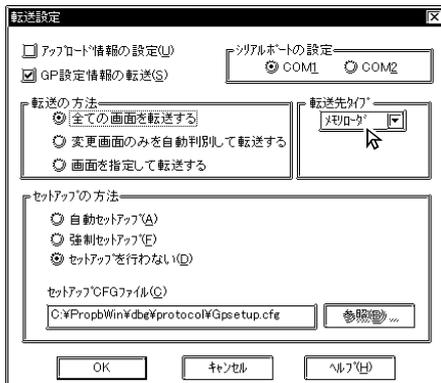
GP 画面作成ソフトで[画面の転送]をオープンします。



[設定(S)]から[設定(S)]を選択、または **設定...** をクリックします。



[転送設定]の転送先タイプで「メモリーダ」を選択し、**OK** で確定します。



スタートスイッチで転送可能状態になります。



[転送(T)]から[画面を送信(S)]を選択、または **画面を送信(S)** をクリックして送信を実行します。

現在開いているプロジェクトファイルが転送準備(コンパイル)されていない場合は、自動的にGP用のデータとして準備されます。



参照 GP画面作成ソフトに付属のオペレーションマニュアル

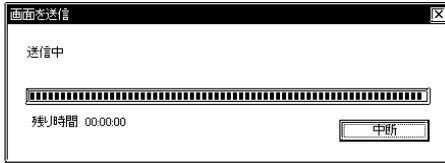


転送先タイプが「メモリーダ」の場合、「アップロード情報の設定」、シリアルポートの設定、「転送先タイプ」以外の項目は固定になります。

参照 GP画面作成ソフトに付属のオペレーションマニュアル

OPERATION

NOTE



P c L d * *
* * * * k B

処理したデータサイズ



P c L d R X
* * * * k B

P c L d W T
* * * * k B

読み込みと書き込みが
数回繰り返される



P c L d O K
* * * * k B

受信の終了

スタートスイッチで終了します

動作モード選択画面に戻ります。

L d = P c ?
P c L d

動作モード



OK をクリックします。



[転送 (T)] から [終了 (X)] を選択、または  をクリックして、[画面の転送] を終了します。



転送を中断する



3-5-7 メモリカードのデータクリア

メモリカード内の記憶データを初期化します。



・メモリカードのデータクリアは「GP転送」モードでも行えます。

参照 3-4-5 メモリカードのデータクリア

データクリア時の操作手順

OPERATION	NOTE																				
<div data-bbox="113 685 188 745" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>通信モードをパソコン転送モードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードのクリア[Clear]を選択し、スタートスイッチで確定します。 モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> L d = P c ? C l e a r </div> <p style="margin-left: 20px;">動作モード</p> <p>クリアの開始確認画面が表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> C l e a r S t a r t ? </div> <p>スタートスイッチでクリアを開始します。</p> <p>動作モード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> C l e a r * * * * k B </div> <p>処理したデータサイズ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> C l e a r O K * * * * k B </div> <p style="margin-left: 20px;">データクリアの終了</p> <p>スタートスイッチで終了します 動作モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> L d = P c ? P c L d </div> <p style="margin-left: 20px;">動作モード</p>	<p>参照 3-5-1 パソコン転送時の起動</p> <div data-bbox="922 752 981 835" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>動作モードは次のように切り替わります。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table style="border-collapse: collapse; margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">←</td> <td style="padding: 0 10px;">受信</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td style="padding: 0 10px;">送信</td> <td style="padding: 0 10px;">←</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">(Pc</td> <td style="padding: 0 10px;">Ld)</td> <td style="padding: 0 10px;">(Ld</td> <td style="padding: 0 10px;">Pc)</td> <td style="padding: 0 10px;">←</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">←</td> <td style="padding: 0 10px;">エンド</td> <td style="padding: 0 10px;">←</td> <td style="padding: 0 10px;">クリア</td> <td style="padding: 0 10px;">←</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">(End)</td> <td style="padding: 0 10px;">(Clear)</td> <td style="padding: 0 10px;">(Clear)</td> <td style="padding: 0 10px;">(Clear)</td> <td style="padding: 0 10px;">←</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="922 1010 981 1093" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>キャンセルする場合はモードスイッチを押すと動作モード選択画面に戻ります。</p>	←	受信	→	送信	←	(Pc	Ld)	(Ld	Pc)	←	←	エンド	←	クリア	←	(End)	(Clear)	(Clear)	(Clear)	←
←	受信	→	送信	←																	
(Pc	Ld)	(Ld	Pc)	←																	
←	エンド	←	クリア	←																	
(End)	(Clear)	(Clear)	(Clear)	←																	

3-5-8 パソコン転送の終了

パソコン転送モードからメモリローダ を終了します。

パソコン転送終了時の操作手順

OPERATION	NOTE						
 <p>受信、送信、クリアの各処理終了後、動作モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> L d = P c ? P c L d </div> 動作モード <p>モードスイッチで動作モードのエンド[End]を選択し、スタートスイッチで確定します。 通信モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> L d = P c ? E n d </div> 動作モード <p>メモリローダの電源を OFF にします。 メモリローダ は停止し、画面表示が消えます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> M o d e ? L d = G p </div> 通信モード <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> ↓ </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div> <p>GPの電源をOFFにします。 メモリローダを GP から切り離します。</p>	 <p>動作モードは次のように切り替わります。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table style="border-collapse: collapse; margin: auto;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">受信 (Pc Ld)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;">送信 (Ld Pc)</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">エンド (End)</td> <td style="padding: 0 10px;">←</td> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;">クリア (Clear)</td> </tr> </table> </div>	受信 (Pc Ld)	→	送信 (Ld Pc)	エンド (End)	←	クリア (Clear)
受信 (Pc Ld)	→	送信 (Ld Pc)					
エンド (End)	←	クリア (Clear)					

3-6 メンテナンス

メモリカードやメモリローダ についての診断を行います。

3-6-1 メンテナンス時の起動

メモリローダ を起動し、通信モードをメンテナンスモードにします。

メンテナンス時の操作手順

OPERATION	NOTE
<div data-bbox="113 815 188 882" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>メモリローダ の電源を ON にします。 起動メッセージ、メモリローダ のバージョンが表示され、メモリローダ が起動されます。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Memory Loader</div> <div style="margin-left: 10px;">起動メッセージ (約 1 秒)</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Ver * . * *</div> <div style="margin-left: 10px;">バージョン表示 (約 1 秒)</div> </div> <p>モードスイッチで通信モードのメンテナンス [Maintain] を選択し、スタートスイッチで確定します。 モードスイッチを押すごとに通信モードが切り替わります。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Mode? Maintain</div> <div style="margin-left: 10px;">通信モード</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">Maint? Data</div> <div style="margin-left: 10px;">動作モード</div> </div>	<div data-bbox="922 815 981 904" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>電池は非常用です。メモリローダにはあらかじめ付属のACアダプタを接続して使用してください。</p> <div data-bbox="922 1227 981 1317" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>通信モードは次のように切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 20px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">GP 転送 (Ld = Gp)</p> <p style="text-align: center;">パソコン転送 (Ld = Pc)</p> <p style="text-align: center;">メンテナンス (Maintain)</p> </div>

3-6-2 データ確認

メモ리카ード内の記憶データの内容を表示して確認できます。

データ確認時の操作手順

OPERATION	NOTE								
<div data-bbox="150 555 225 618" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p>通信モードをメンテナンスモードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードのデータ確認 [Data] を選択します。</p> <p>モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> Maint? Data </div> <p style="margin-left: 20px;">動作モード</p> <p>スタートスイッチでデータ確認を開始します。</p> <p>モードスイッチを押すごとに表示する項目が切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> ***** ***** </td> <td style="padding-left: 10px;">GP タイプ</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ***** ***** </td> <td style="padding-left: 10px;">バージョン</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> No. ** ***** k B </td> <td style="padding-left: 10px;">機種 No. データサイズ</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ID ** ***** </td> <td style="padding-left: 10px;">コア ID PLC タイプ</td> </tr> </table> </div> <p>スタートスイッチでデータ確認を終了します。</p> <p>動作モード選択画面に戻ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> Maint? Data </div> <p style="margin-left: 20px;">動作モード</p>	***** *****	GP タイプ	***** *****	バージョン	No. ** ***** k B	機種 No. データサイズ	ID ** *****	コア ID PLC タイプ	<p>参照 3-6-1 メンテナンス時の起動</p> <div style="margin-top: 10px;"> <p>動作モードは次のように切り替わります。</p> <pre> graph LR A[データ確認 (Data)] --> B[自己診断 (Test)] B --> C[エンド (End)] C --> A </pre> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>キャンセルする場合はモードスイッチで動作モード選択画面に戻ります。</p> </div>
***** *****	GP タイプ								
***** *****	バージョン								
No. ** ***** k B	機種 No. データサイズ								
ID ** *****	コア ID PLC タイプ								

3-6-3 自己診断

メモリローダ の自己診断機能には、以下の8つがあります。

- SRAM チェック : SRAM のリード / ライトチェック
- FEPR0M チェック : FEPR0M のチェックサムチェック
- メモリカードチェック : メモリカードのリード / ライトチェック
- GP インターフェイス ループバックチェック : ミニ丸 Din8 ピンのループバックチェック
- パソコンインターフェイス ループバックチェック : Dsub25 ピンのループバックチェック
- バッテリーチェック : 電源電圧の低下チェック
- スイッチ入力チェック : スタートスイッチ、モードスイッチの入力チェック
- LCD 表示チェック : LCD の表示パターンチェック

自己診断時の操作手順

OPERATION	NOTE										
 <p>通信モードをメンテナンスモードにします。</p> <p>モードスイッチで動作モードの自己診断[Test]を選択し、スタートスイッチで確定します。</p> <p>モードスイッチを押すごとに動作モードが切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> Maint? Test </div> <p style="margin-left: 20px;">動作モード</p> <p>モードスイッチで自己診断の項目を選択します。</p> <p>モードスイッチを押すごとに診断する項目が切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;">Test? Sram</td> <td style="padding-left: 10px;">SRAM チェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Test? Feprom</td> <td style="padding-left: 10px;">FEPR0M チェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Test? Card</td> <td style="padding-left: 10px;">メモリカードチェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Test? Toolcon</td> <td style="padding-left: 10px;">GP インターフェイス ループバックチェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Test? RS232c</td> <td style="padding-left: 10px;">パソコンインターフェイス ループバックチェック</td> </tr> </table> </div>	Test? Sram	SRAM チェック	Test? Feprom	FEPR0M チェック	Test? Card	メモリカードチェック	Test? Toolcon	GP インターフェイス ループバックチェック	Test? RS232c	パソコンインターフェイス ループバックチェック	<p>参照 3-6-1 メンテナンス時の起動</p> <p>MEMO 動作モードは次のように切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>データ確認 (Data) → 自己診断 (Test)</p> <p>← エンド (End)</p> </div> <p>注意  メモリカードチェックを実行すると、メモリカード内のデータはクリアされます。</p> <p>参照 メモリカードチェック</p> <p>参照 ループバックチェック</p>
Test? Sram	SRAM チェック										
Test? Feprom	FEPR0M チェック										
Test? Card	メモリカードチェック										
Test? Toolcon	GP インターフェイス ループバックチェック										
Test? RS232c	パソコンインターフェイス ループバックチェック										

OPERATION	NOTE
<pre> graph TD A[Test? Battery] --> B[Test? Switch] B --> C[Test? Lcd] C --> D[Test? End] D --> A </pre> <p>Test? Battery バッテリーチェック</p> <p>Test? Switch スイッチ入力チェック</p> <p>Test? Lcd LCD表示チェック</p> <p>Test? End 自己診断の終了</p>	<p>参照 バッテリーチェック</p> <p>参照 スイッチ入力チェック</p> <p>参照 LCD表示チェック</p>
<p>スタートスイッチで診断を開始します。 診断結果により、[OK]または[NG]を表示します。</p> <p>正常終了した場合</p> <p>テスト項目</p> <p>**** OK OK表示</p> <p>異常終了した場合</p> <p>テスト項目</p> <p>**** NG NG表示 **** ** エラーデータ</p>	<p>MEMO スイッチ入力チェックの場合のみ、スタートスイッチとモードスイッチの同時入力で終了します。</p> <p>参照 スイッチ入力チェック</p>
<p>スタートスイッチで終了します。 自己診断の項目選択画面に戻ります。</p> <p>Test? Sram</p>	
<p>モードスイッチで[End]を選択し、スタートスイッチで自己診断を終了します。 動作モード選択画面に戻ります。</p> <p>Test? End</p> <p>↓</p> <p>Maint? Data 動作モード</p>	

メモ리카ードチェック

メモ리카ードのリード/ライトチェックです。



- メモ리카ードチェックを実行すると、メモ리카ード内のデータはクリアされます。

Card	OK
------	----

メモ리카ードは正常です。

Card	NG
*****	**

メモ리카ードは異常です。

メモ리카ードチェックの結果がNGの場合、以下の原因が考えられます。

- メモ리카ードが書き込み不可になっている。
- メモ리카ードがメモリローダ に対応していない。
使用可能メモ리카ード：富士通（株）製 MB98A81273（4M FROM 5V 単一）
- メモ리카ードが壊れている。

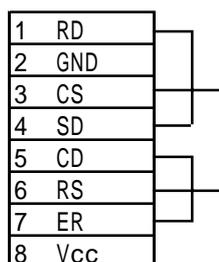
ループバックチェック

各コネクタの制御ライン、送受信のラインのチェックです。

GPインターフェイス ループバックチェック

GP インターフェイス ループバックチェックはGP インターフェイスにGP インターフェイス用ループバックケーブルを装着してテストを実行します。

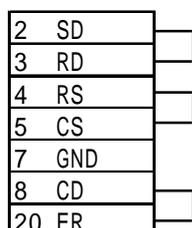
GP インターフェイス用ループバックケーブル(ミニ丸Din8ピンソケット)



パソコンインターフェイス ループバックチェック

パソコンインターフェイス ループバックチェックは、パソコンインターフェイスにパソコンインターフェイス用ループバックケーブルを装着してテストを実行します。

パソコンインターフェイス用ループバックケーブル(Dsub25ピンソケット)



バッテリーチェック

電源電圧低下のチェックです。

Batt	OK
------	----

電池の電圧は正常です。

Batt	NG
------	----

電池を交換してください。

Batt	Low
------	-----

電池が消耗しています。

Batt	Adp
------	-----

ACアダプタが接続されています。

LCD表示チェック

LCD表示チェックでは、診断を開始すると上段と下段にアルファベットがシフト表示されます。

DEFGHIJK

ABCDEFGHIJKLMNOP
QRSTUVWXYZをシフト表示



LCD TEST
COMPLETE

チェック終了

スイッチ入力チェック

スイッチ入力チェックでは、診断を開始すると下記の画面が表示されます。各スイッチを入力して診断します。モードスイッチとスタートスイッチを同時に押すとチェックが終了します。

Switch

モードスイッチを入力すると[MODE]を表示
スタートスイッチを入力すると[START]を表示

3-6-4 メンテナンスの終了

メンテナンスモードからメモリローダ を終了します。

メンテナンス終了時の操作手順

OPERATION	NOTE						
<div data-bbox="108 555 188 622" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p data-bbox="225 573 895 651">メンテナンス処理終了後、動作モード選択画面に戻ります。</p> <div data-bbox="240 678 432 752" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> Maint? Data </div> <div data-bbox="451 719 564 741" style="margin-left: 10px;">動作モード</div> <p data-bbox="225 792 895 871">モードスイッチで動作モードのエンド[End]を選択し、スタートスイッチで確定します。</p> <p data-bbox="225 882 603 913">通信モード選択画面に戻ります。</p> <div data-bbox="240 940 432 1014" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> Maint? End </div> <div data-bbox="451 981 564 1003" style="margin-left: 10px;">動作モード</div> <p data-bbox="225 1059 783 1137">メモリローダの電源を OFF にします。 メモリローダ は停止し、画面表示が消えます。</p> <div data-bbox="240 1160 432 1234" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> Mode? Ld = Gp </div> <div data-bbox="451 1200 564 1223" style="margin-left: 10px;">通信モード</div> <div data-bbox="308 1249 355 1294" style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div data-bbox="240 1312 432 1386" style="border: 1px solid black; height: 33px; width: 120px; margin: 0 auto;"></div>	<div data-bbox="927 748 975 837" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <p data-bbox="927 792 1366 871">動作モードは次のように切り替わります。</p> <div data-bbox="967 882 1366 1003" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">→ データ確認 (Data)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">自己診断 (Test)</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">←</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">←</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">← エンド (End)</td> </tr> </table> </div>	→ データ確認 (Data)	→	自己診断 (Test)	←	←	← エンド (End)
→ データ確認 (Data)	→	自己診断 (Test)					
←	←	← エンド (End)					

第4章

エラーメッセージ

4-1 エラーメッセージ

メモリローダ の通信が異常終了するとメモリローダ やパソコンにエラーメッセージが表示されます。

4-1-1 メモリローダ に表示されるエラーメッセージ

メモリローダ に表示されるエラーメッセージについて示します。

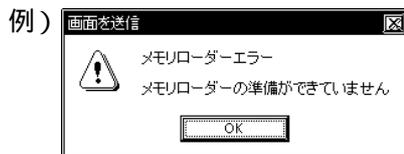
L d G p N G	エラーメッセージ

エラーメッセージ	エラー内容	発生原因	対処方法
Cd1 Err/ Cd2 Err		マニュアルで指定されている、メモリカード以外を使用した。	指定されているメモリカードをご使用ください。
Cd3 Err		メモリカードを挿入せずにメモリローダを動かした。	メモリカードを挿入してから操作してください。
Cd4 Err		アップロードの際、GPのデータがメモリカードの容量を越えていた。	GPのデータ容量を確認し、同容量以上のメモリカードをご使用ください。
Cd5 Err		メモリカードのライトプロテクトがON（書き込み不可）の状態です。アップロード・受信・クリアを行なった。	メモリカードのライトプロテクトをOFF（書き込み可能）にしてから処理してください。
Cd6 Err		メモリカードへの書き込み/読み出しに失敗した。	メモリカードをクリアしてから処理をやり直してください。
Data Err	メモリカードエラー	メモリカードがクリアされていない状態でアップロードまたは受信を行った。 データの書き込まれていないメモリカードでダウンロードした。	メモリカードをクリアしてから処理をやり直してください。 アップロードまたは受信でデータをメモリカードに書き込んでからダウンロードしてください。
Type Err	GP機種不一致	ダウンロードの際、メモリカードに保管されているデータとダウンロードするGPの機種またはプロトコル異なっていた。	メンテナンスモードでメモリカードのデータ確認を行ない、ダウンロードするGPの機種を確認してください。
Pass Err	パスワード不一致	画面データをGP70シリーズへダウンロードする際、既にGPに設定されているパスワードとGP画面作成ソフトで設定したパスワードが異なっていた。	GP画面作成ソフトで設定したパスワードとGPに設定されているパスワードを確認して同じパスワードを入れてください。
Tx1 Err	通信データ・コマンド異常	GPまたはパソコンと通信中にケーブルを抜き差しした。 GPまたはパソコンと通信中にGP、パソコンの電源をOFFにし、再びONにした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。 メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。

エラーメッセージ	エラー内容	発生原因	対処方法
Tx2 Err	通信エラー-2	GPまたはパソコンと通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダの電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	パリティオーバーラン・フルミングエラー	GPまたはパソコンと通信中にGP、パソコンの電源をOFFにし、再びONにした。	メモリローダの電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
HS Err	通信エラー-3	GPまたはパソコンと通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダの電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	HSリンクエラー	GPと通信中にGPの電源をOFFにし、再びONにした。	メモリローダの電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
Gp Err**	GP本体での書き込みエラー	ダウンロードの際、GPへ正常に書き込みできなかった。	メモリローダの電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
Batt Err	メモリローダの電源電圧低下	バッテリーの電源電圧が低下した。	電池を交換するか、ACアダプタを接続し、もう一度処理を行ってください。
Size Err	データサイズ不一致	ダウンロードの際、メモリカードのデータよりGPのデータサイズが小さかった。	メンテナンスモードで、メモリカードのデータサイズを確認して対象のGPへダウンロードしてください。

4-1-2 パソコンに表示されるエラーメッセージ

パソコン転送で画面転送の際、パソコンに表示されるエラーメッセージについて示します。



エラーメッセージ	発生原因	対処方法
メモリローダの準備ができていません	電池のバッテリー切れで、メモリローダの電源が入っていない。	メモリローダの電源を確認して電源をONにしてもLCDに表示されない場合は、電池を交換するか、ACアダプタをお使いください。
書き込みエラー(メモリカード異常)	メモリカードがクリアされていないのにパソコン転送・受信を行った。	メモリローダへデータを書込む場合は、メモリカードをクリアしてから処理してください。
	マニュアルで指定されているメモリカード以外を使用した。	指定されているメモリカードをお使いください。
	メモリカードのライトプロテクトがON(書き込み不可)になった状態でパソコン転送・受信を行った。	メモリカードのライトプロテクトをOFF(書き込み可能)にしてから処理してください。
コマンドパラメータ異常	メモリローダと通信中にケーブルを抜き差しした。	もう一度、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なっている。	ケーブル配線を確認してください。
容量オーバー(メモリ不足)	パソコン転送・受信で指定したファイルのデータがメモリカードの容量を越えていた。	GPのデータ容量を確認して、同容量以上のメモリカードをお使いください。
チェックサムエラー(チェックサム異常)	メモリローダと通信中にケーブルを抜き差しした。	もう一度、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なっている。	ケーブル配線を確認してください。

エラーメッセージ	発生原因	対処方法
指定バンク無し(バンク数オーバー)	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
通信タイムアウト	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なっている。	ケーブル配線を確認してください。
記憶データ無し	データの書き込みされていないメモリカードでパソコン転送・送信した。	アップロードでGPよりデータをメモリカードに書込んでからパソコン転送・送信をしてください。
指定ブロック番号抜け	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
コマンド無効	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
カード無し	メモリローダ にメモリカードが挿入されていない。	メモリローダ にメモリカードを挿入してもう一度行ってください。
処理中断(アップロード、ダウンロード)	処理を途中で中断させた。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
COMポートをオープンできませんでした	パソコンの通信ポートにメモリローダ との接続ケーブルがつながっていない場合表示されます。	メモリローダ と接続しているポートを確認して設定し直してください。
送信タイムアウトエラー	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なる場合表示されます。	ケーブル配線を確認してください。
受信タイムアウトエラー	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なる場合表示されます。	ケーブル配線を確認してください。
受信パリティエラー	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なっている。	ケーブル配線を確認してください。
受信オーバーランエラー	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なっている。	ケーブル配線を確認してください。
受信フレーミングエラー	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
	接続ケーブル配線が異なっている。	ケーブル配線を確認してください。
チェックサムエラー	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
ヘッダーデータエラー	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
受信データに誤りがあります	メモリローダ と通信中にケーブルを抜き差しした。	メモリローダ の電源をOFFにした後、処理をやり直してください。
ファイルが見つかりません	指定したファイル名が正しくない。	ファイル名を確認してからもう一度入力し直してください。
パスが不正です	指定したファイルのディレクトリが正しくない。	ディレクトリを確認してからもう一度入力し直してください。
オープンファイルが多すぎます	オープンしているファイルが多すぎる。	使用しないファイルを閉じてから処理をもう一度行なってください。

エラーメッセージ	発生原因	対処方法
ファイルアクセス禁止	ライトプロテクトがOnになっているファイルに書き込みした。	ライトプロテクトをOffにしてから、もう一度処理を行なってください。
	READ ONLYファイルに書き込みした場合表示されます。	ファイルの属性を変更するか、別ファイル名で保存してください。
ディレクトリがいっぱいです	ディレクトリ内のファイル数が最大値を越えた。	不要なファイルを削除するか、別ディレクトリを指定してください。
ハードウェアエラー	ご使用されているパソコンに不良があることが考えられる。	別のパソコンで実行させてください。
ディスクがいっぱいです	ディスクの容量が一杯になった。	不要なファイルを削除するか、別のディスクをご使用ください。
ファイルの終わりに到達しました	何らかの原因で、ファイルが破損した。	このような場合、破損したファイルを完全に修復することはできません。保管されているファイルのバックアップをとっておくようにしてください。